

テーマ

ふるさとでの学びを誇りに たくましく未来を

切り拓く 都祁の子を育てよう

目標

地域を学び、地域の方から学ぶ取組を通して、ふるさと都祁を愛し、誇れる子どもを育成する。

今年度の取組紹介

○こども園・小学校・中学校・地域の交流

中学校の体育祭に、こども園の園児、都祁小学校の児童、地域の方々が、中学校の文化祭にも都祁小学校の児童と地域の方々が参加してくれました。

また、中学校のオープンスクールとして、小学生の体験入学を実施し、授業や部活動を体験しました。園児や児童が生き生きと活動するだけでなく、中学生も自己有用感を高めることができました。

これらの取り組みを通して、来年度からのこども園・小学校・中学校の双方向の交流の目処がたちました。



今年度のまとめ

今年度実施したいずれの事業も、コーディネーターさんを中心に多くのボランティアの皆さんにご協力いただき、それぞれの目的を達成することができました。都祁地域の児童生徒は、様々な活動に地域の方々がいつも目を掛け、気を配っていただいていることを実感し、地域のすばらしさを知り、地域の一員としての自覚も高まってきました。

来年度に向けて

小学校の統合再編により、こども園、小学校、中学校がごく近距離に位置することになるので、これを大きなチャンスにとらえ、園・小・中の交流を今まで以上に活発に行っていきます。さらに、地域の行事等にも今まで以上に積極的に参加し、地域の方々との交流も今まで以上に活発にしていきます。いずれにしても、一方的な支援する・されるという関係でなく、双方向の交流をめざし、お互いが自己有用感を持てるような取り組みを計画し実行していきたいです。

テーマ

ふるさとに学び 未来を拓く

目標

保護者・地域の方々との交流を図りながら、地域を愛する心を育てるとともに、諸活動を通して豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培い、感謝する気持ちを大切にできる生徒を育成する。

今年度の取組紹介

○ 農業体験事業（さつまいも栽培）『プロジェクトX』

都祁小学校のコーディネーターさんから畑をお借りし、その指導の下で、畝作り、マルチかけ、苗植え、水やりと作業をしました。その後、草引き、ツル返しと夏休み中も畑に行き、秋になってさらに草引き、ツル返し。暑い日が続いた時や、雨が続いた時も畑を見に行き、ようやく収穫を迎えた時の生徒たちの表情はすばらしいものでした。さらに、そのさつまいもを使ってきんとんや焼きイモやスイーツづくりまで、地域の方々と農業のたいへんさや喜びを感じることものできる取り組みになったと思います。



今年度のまとめ

地域交流会で多くの地域の方々に学校に来ていただいたり、職場体験学習で生徒たちが、地域に出て活動することができました。また、地域の行事に出演したりボランティアで参加したりする機会が増えました。

また、今年度は都祁小学校のコーディネーターさんの指導の下、農業体験（さつまいも栽培）として、6月から10月まで（その後の調理も含めると2月まで）、継続的に長期にわたっての取り組みを設定することができました。

来年度に向けて

生徒だけでなく、職員も地域の方々と地域の行事に積極的に関わっていくようにします。また、校区の小学校の統合再編で、小学校との距離が大幅に近くなることでもあり、小学校やこども園との交流も積極的に行っていきたいです。

テーマ

ふれあい、輝く並松っ子

目標

地域とのふれあいを通して、並松小学校の子どもたちの
健やかな成長をめざし、知・徳・体のさらなる向上に取り組む

今年度の取組紹介

○「ようこそ先輩」…並松から世界に羽ばたき活躍されている北岡さんをお招きし、『夢を持つこと』をテーマに講演をしていただきました。北岡さんはご自身の小学校時代のことや都祁中学校、高校や大学での話を写真や事例で楽しくお話をしてくださいました。夢をもち、かなえていくことのすばらしさや得られることが子どもたちの心によく響いていました。夢をかなえていくことで得られる『自己成長、なかま、ドキドキ感、豊かな心、がんばる心』は元トップアスリートからの説得力ある言葉でした。



その後、運動場で子どもたちの陸上練習をし、最後には運動場3周を一緒に走っていただきました。子どもたちは全力疾走で途中までついていけた子もいましたが、最後はそのスピードの持続力に信じられない様子でした。あのスピードでマラソンを走るとは改めてびっくりしました。一緒に走っていただいたことや「夢」の話は子どもの心に残ると思います。

○地域との交流（学習支援活動を中心として）

地域の伝統食として、今も地域の神社にお供えされているちまきは子どもが元気に育ったお祝いやこれからも元気に育ちますようにとの願いが込められています。ちまきは、つきたての餅だんごを地域に自生する笹と雌萱で包み、藺草で巻いて作られます。本年度も地域のボランティアの方に6年生と保護者を対象に指導していただきました。



自然豊かな地域に住んでいながら萱や藺草を知らなかった子どもも多く、伝統的な食文化にふれ、先人の知恵やちまきに込められた願いを知ることができました。

今年度のまとめ

地域学習は学年が上がるにつれ、視点の広がり、学習の深まりがあり、学習発表会をすることで、その成果を地域の方も知ることができました。地域の方々との交流は新しい経験をし、地域の歴史や文化を知り、その人を知ることにつながっていると思われます。外部講師の活用は、職員だけで不足する専門的な知識に基づく指導で、子どもたちの学びが深まりました。また、あこがれの人たちから人間として大切にすべきことをインタビューする場面があり、あたりまえのことをきちんとすることや目標を持つことの大切さに気づくこともできました。環境整備作業、登下校の見守りなど、メンバーが替わってもスムーズに進めていただいています。保護者・地域の方々との心温かい支援に支えられ、教科・領域の学習にとどまらない教育活動を実践できました。これらのことが、子どもたちに故郷を愛する心を育み、良き社会人として自立できる基礎を築いていくと考えます。

来年度に向けて

統合再編されるので、4校の事業の精選をしていかなければなりません。中学校区で進める「保小中一貫教育推進プラン」に沿って、地域の特色を生かした体験活動の充実、子どもたちの体力向上、環境美化、ふるさとを知る学習などに取り組むたいと考えています。

テーマ

瞳きらきら 心うるおう都祁の子の育成

目 標

地域力を生かし、信頼と活力ある学校で、感動体験・思いやりの心・信頼の心を育てる。瞳を輝かせ、何事にも主体的に活動する子どもを育成する。

今年度の取組紹介

○ 米作り・野菜作り栽培体験学習

自然や地域とのかかわりを深めるために、各学年で栽培体験学習を実施しました。具体的には、米作り、土づくり、水菜や白菜・サツマイモの栽培や調理（焼き芋 ※下の写真参照）など、地域の農業について体験することができました。

体験学習の際には、ご来校いただいた地域の方々と直に話すだけでなく、観察したことや経験したことを絵や作文にまとめたり、お礼の手紙を書いて渡したりしました。自分の思いや考えを文章に書くことを通して、表現力が養われました。

○ しめ縄作り

昔は刈り取った稲わらを取り置き、年末におのおの自宅でしめ縄を作っていましたが、長らく作らなくなっていました。わらを編み、しめ縄を作るという体験をさせることで、地域に伝わることを伝承していくことは意義深いことです。



今年度のまとめ

今年度は昨年の2名から4名にコーディネーターを増やしていただきました。その中で、学校支援代表コーディネーターと学校が適宜、打ち合わせを行うことで、それぞれの活動をスムーズに進めることができました。

また、それぞれの活動後に、子どもたちがお礼の手紙を書くことで、地域の方々へ感謝の気持ちを伝えることができました。地域の方からは、「この手紙はずっと大切にしたい」といったお返しの手紙をいただき、子どもたちの次の活動意欲につながっています。

来年度に向けて

次年度は、都祁地域の四小学校が統合再編されます。四小学校とも地域の特色を生かした体験活動に重点を置いていますが、体験に終始するのではなく、教科学習や学校行事との関連をより綿密に図るなど、カリキュラムへの位置づけを明確にしていきたいです。

テーマ

開校！ 吐山学園

目標

**校区を一つのキャンパスと考え、地域の教育力を生かした活動を通して、
笑顔あふれる楽しい学校づくり・地域づくりに取り組む**

今年度の取組紹介

《吐山探検隊》

地域にある伝統文化や自然環境を学びました。伝統文化である太鼓踊りは、地域の方の熱意ある指導を受け、子どもたちも熱心に練習していました。今年は教育講演会の日に、盲導犬と共に活動されているロックバンドのコンサートとセットで上演しました。また、スズラン群生地や左巻き樋といった地域に残る貴重な天然記念物を見学し、地域の自然環境の素晴らしさを実感しました。



吐山太鼓踊り ↑

↓ 花ボランティア

《花ボランティア》

毎年花を育て、育てた花を子どもたち一人一人が生け花にして、9月の敬老会でプレゼントしています。「ボランティア」として活動していますが、ほとんどの子どもが参加しました。花の植え方は教えていただき、水やりは自分たちでします。そして、生け花をする時に、再び地域の方に教えていただきます。敬老会ではお年寄りの方々に喜んでいただきました。



今年度のまとめ

「吐山探検隊」では、多くの地域の方々にお世話になりました。それは活動当日だけではなく、たとえば自然遺産を見学に行く日が決まれば、それに合わせてその周辺の草刈りを行ってくださるといったことも含めてです。それだけ地域の方々の学校に対する思いが強いということで、ありがたいことです。「花ボランティア」は、そういった地域からいただいた温かい心遣いに対する御礼としての活動です。「笑顔とどけ隊」とネーミングしたボランティアグループは、笑顔を届けるために花を育て生け花をしました。地域と子どもたちの間で、温かい心が行き交う実践となりました。

来年度に向けて

本校は今年度で閉校となり、子どもたちは来年度から統合再編校へ通学することになります。地域と共に学ぶ学習は、校区が広がるためどのような形になっていくのか不透明な部分がありますが、吐山地域の方々は、次年度も協力していくとおっしゃってられます。子どもの人数が増えても、これまでのような温かい活動が継続できるように地域と連絡を密にして、綿密な計画を立てて実践していきたいと思います。

テーマ

学び・ふれあい、六郷の里

目標

豊かな自然を生かした活動や、地域の人々との交流を通して、ふるさとを愛する豊かな心と強い体を育み、人と人とのふれ合いを大切にする子どもを育てる。

今年度の取組紹介

○ 米作り体験教室

本年度も地域の農家の方々の協力により、5年生において米作り体験を実施しました。学校のすぐそばの田んぼをお借りして、代かき、田植え、稲刈り、脱穀までの作業を体験することができました。今回も田んぼに張り縄をして、きれいに苗植えができました。夏場の水の管理や雑草とりなどががんばった成果があり、約95kgのお米を収穫することができました。収穫したお米は、家庭科の実習で炊いて全校で味わったり、11月の六小まつりの際に、「六郷米」として、保護者や地域の方に販売したりしました。売上金は全額熊本県に寄付をしました。この活動を通して、生産する苦労や喜び、勤労の大切さ、地域の方々とのふれあいの大切さを学ぶことができました。



○ ふれあい文化体験交流会（六小まつり）

六小まつりでは、1学期から練習を積んできた合唱や合奏を保護者をはじめ、地域の方々にも聞いていただくことができました。その際、6年生が東山文化体験として行った生け花の作品も会場に飾り、交流会に花を添えることができました。音楽発表後、地域の方による尺八演奏の鑑賞会を行いました。最後に、PTA役員による合唱も披露していただき、実りのある六小まつりとなりました。



今年度のまとめ

米作りや野菜作りなどの自然・勤労体験を通して、子どもたちは、自然の恵みや豊かさに気づき、生産する喜びや勤労の大切さも学ぶことができました。自分たちが育てたものを食したときの喜びは大きいものがありました。六小まつりの音楽発表会では、保護者や地域の方々にきていただき、子どもも大人もいっしょに歌い、すばらしい音楽会を開くことができました。地域の学習や学校の環境整備においても地域の方々の協力のもと、ともに活動することで人とふれ合うことの大切さや、周りの人たちに対して感謝する心を育むことができました。

来年度に向けて

学校規模適正化により、来年度は4小学校が1つになる予定です。さらに地域の産業や文化、歴史に目を向けた学習をより一層充実したものにするために、コーディネーターとの連携を密にして、これらに精通した地域の人材の確保や掘り起こしをしていかなければなりません。地域の方々とのふれあいや体験活動を通して、地域を愛する心を育んでいきたいです。

テーマ

みんな大好き！地域につながるこども

目標

身近な環境や様々な人との交流や関わりを通して、感動体験を味わい豊かな心と体を育む。

今年度の取り組み紹介

今まではサツマイモの苗植え、収穫、焼きいも大会を園内で行ってきましたが、今年度は地域の方々に色々教えていただきながら一緒に活動をしました。苗の植え方や植えた後のお世話の仕方などを丁寧に教えてもらい、子どもたちも今までより、熱心に水やりや草取りをして栽培活動に取り組む姿が見えました。10月、地域の方々にサツマイモに傷がつかないように掘るように教えてもらい、ツルを引っ張り大きなサツマイモが出てくると地域の方に「みて～！」大喜びで伝えていました。地域の方々と話したり触れ合ったりしながら楽しんで活動できました。



年長児が地域の方々に教えてもらい、初めて華道体験をしました。事前に牛乳パックに包装紙を巻き自分たちで花器をつくり華道体験の日を楽しみにしていました。1テーブルに一人地域の方がついて下さりお花の生け方を教えていただきました。「上手ね」「それでいいよ」とほめてもらいながら楽しみながらも真剣な表情で生けていました。子どもたちが身近な植物に触れ親しみ、お花を生けられた喜びを体験することができました。日本の伝統文化を知り、触れる良い機会になりました。生けたお花を玄関に飾り送迎の保護者みんなに、活動を紹介できるようにしました。



今年度のまとめ

華道体験や茶道体験は、日本の伝統文化に触れる良い機会となり、家庭に帰ってから地域の方に教えていただいた体験を嬉しそうに話していました。また身近な素材を使ってお花を生けられることがわかり、おうちの人と一緒にまた花を生けて楽しみましたという声が保護者から聞かれました。子どもたちが体験し楽しかった活動が家庭にもつながったことが大変良かったと思います。道端に咲いている草花を生けることで自分たちの住んでいる地域の自然の良さを感じることができました。またそれぞれの活動で普段園に来ていただく機会がなかった地域の方からは、園児と一緒に活動することで「こんな子がいるねんな」と地域の子どもたちを身近感じ「園に来てよかった」と感想を述べられていました。

来年度に向けて

地域の方の人材を発掘し、活力を活かした活動を多く取り入れたいと思います。普段経験できないことを地域の方の力を借りて取り組み子どもたちの感動体験へつなげたいです。